

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	図書館利用の普及	【評価】	C
【取り組み内容】			
<p>図書館サービスに対する市民の関心を高め、利用の拡大を図るため広報活動を積極的に進めます。 実利用登録率を、さいたま市の人口増加率より下回らないように努めます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
新規登録者数	44,000人	37,090人	C
貸出総数	11,316,000点	10,652,669点	C
来館者数	7,424,000人	6,958,065人	C
貸出利用人数	2,940,000人	2,784,529人	C

【評価説明】
<p>震災の影響により、図書館全館で4月の開館時間が平日午後6時までに短縮されていたこと、アスベスト除去工事のため北浦和図書館が5ヶ月休館していたことを考慮しても、4項目とも目標値に達していないため総合評価をCとしました。</p>

【目標】	あらゆる世代に向けたサービスの充実	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>「さいたま市子ども読書活動推進計画」に基づき、各図書館において、子どもたちが本に親しみ、楽しめる環境づくりに努めます。 また、ビジネス支援や医療情報コーナーなど、社会人や高齢者の向学心に応える事業を充実させます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
子ども向け行事開催数	1,100回	1,165回	A
ビジネス関連行事開催	実施	実施	A
テーマ資料展示の実施	276回	555回	A

【評価説明】
<p>「子ども向け行事開催数」「テーマ資料展示の実施」については、震災による行事の休止、5ヶ月間の北浦和図書館の休館という数値を減らす要素があったにも関わらず、目標値を上回ったことを高く評価しました。 「ビジネス関連行事開催数」については、平成23年度は少なくとも月に1度の実施実績がありました。 全指標が目標値を上回っているため、総合評価をAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	バリアフリーサービスの充実	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>図書館の利用に障害がある方や高齢者も、図書館を利用しやすいようきめ細かいサービスに努めます。</p> <p>「視覚に障害のある方」のためには録音図書や点字図書・点訳絵本の作成・貸出、対面朗読などを行います。「聴覚に障害のある方」にも、手話字幕入りの映像資料などを整備します。図書館への来館が困難な方には宅配サービスを行います。音声パソコン、録音再生機器などの利用普及を図ります。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
音訳資料・点訳資料貸出数	9,460点	10,370点	A
対面朗読回数、時間数	224回 394時間	228回 420時間	A
手話字幕入り資料の所蔵数	100点	124点	A
宅配サービスの実施	54点	2点	D

【評価説明】
<p>宅配サービスは、制度としては整備されていますが、登録利用者が非常に少ない(2人程度)ため、利用点数が大きく増減してしまいます。今回、この指標はD評価となりましたが、手話字幕入り資料所蔵数や対面朗読回数・時間数の増加を考慮し、総合評価をBとしました。</p>

【目標】	学校図書館との連携	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>学校図書館支援センター(北浦和図書館)による教科関連図書の貸出しや、大宮西部図書館による大型団体貸出を行います。また、学校訪問や学校招待などを実施し、学校司書や司書教諭との連携を進めます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
教科関連資料貸出数	69,000点	60,847点	C
大型団体貸出数	30,600点	30,903点	A
学校訪問・招待の実施回数、参加人数	132回 6,090人	132回 5,694人	B
職場体験の受入件数	77件	78件	A

【評価説明】
<p>教科関連資料貸出数が目標値より大幅に減少しているためC評価としていますが、学校支援センターが一時的に大宮西部図書館へ移ったこと、教科書改訂のため貸出数が減少したなどが考えられます。</p> <p>教科関連資料貸出数以外がA評価またはB評価であることから、総合評価をBとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	文化事業の開催	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>市民の要望を把握して、講座、講演会、映画会、展示会などを開催し、市民の文化活動、読書活動を支援します。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
講座等の実施回数	105回	98回	C
映画会開催回数	123回	103回	C
展示会の開催数	3回	13回	A
文化施設提供数	865回	902回	A

【評価説明】
<p>「講座」「映画会」については、それぞれ目標値の約93.3%、約83.7%の実施・開催回数にとどまるため、C評価としました。</p> <p>指標別評価がA評価とC評価に分かれるかたちとなりましたが、C評価の「講座」「映画会」の実施・開催回数減少については、震災による行事の休止、夏季の節電、5ヶ月間の北浦和図書館の休館が影響している点を考慮し、総合評価をBとしました。</p>

【目標】	情報通信機器を活用したサービスの充実	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>メールマガジンを使って、図書館の情報やお知らせを配信します。また、図書館未利用者も図書館の各種サービスを知ることができるよう、ホームページの充実に努めます。</p> <p>図書館ネットワークの整備を一層進め、また、インターネット端末を順次整備して、正確で迅速な検索システム整備に努めます。</p> <p>インターネット、データベースをはじめ、館内で市民が情報収集できる環境を整備し、職員は利用のサポートをします。電子図書等、あらたな媒体についても検討していきます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
メールマガジン年間延べ利用人数	7,030人	8,376人	A
ホームページアクセス数	5,140,000回	4,658,168回	C
インターネット延利用人数	141,000人	142,120回	A

【評価説明】
<p>ホームページアクセス数は、トップページへのアクセス数のみであり、(予約のため)直接検索ページにアクセスした場合はカウントされません。達成率90.6%のためC評価としていますが、インターネット予約自体は増加しており、実態は目標値にかなり近いと考えられます。</p> <p>他の指標がA評価であることも考慮し総合評価をBとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	幅広く計画的な資料の収集と除籍資料の有効活用	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>資料の「収集・選択」及び「除籍・保存」に関する基準に基づき、各図書館の特色を生かした、効率的、計画的な資料収集に努めます。</p> <p>中央図書館ではビジネス支援、子育て支援、医療情報、法律情報などの各コーナーの充実を図り、市民へのPRに努めます。各図書館においても、暮らしに役立つ資料・情報や、地域の実情にあった資料の収集に努め、市民のデータバンクとしての機能を充実させます。</p> <p>除籍資料や図書館で受け入れの対象にならなかった寄贈資料は、本として再利用できるよう層の有効活用を検討します。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
図書資料購入点数	101,000点	97,565点	B
選定会議開催数	45回	45回	A
資料回転率	2.9点	3.1点	A
寄贈資料受入点数	21,000点	26,978点	A
リサイクル事業の実施	実施	実施	A

【評価説明】
5つある指標のうち4つがA評価であり、「図書資料購入点数」も96.6%と高い達成率なので、総合評価をAとしました。

【目標】	レファレンスサービス(調べもの相談)の充実	【評価】	C
【取り組み内容】			
<p>身近な疑問から専門的な調査まで、図書、雑誌、データベースなどを駆使して、満足度の高い回答ができるよう努めます。より専門性の高い調べ物は専門機関への紹介に努めます。</p> <p>メールによるレファレンスサービスの受付や、事例のデータベース化、パスファインダーの公開など市民の利便性の向上を図ります。</p> <p>専門業務の職員研修を行い、市民の多様な要望に応えられるよう努めます。</p> <p>調査相談事業の広報を行い、市民の利用を促します。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
レファレンス受付件数	60,700件	101,762件	A
レファレンス事例の公開	50件	166件	A
データベース利用回数	2,690回	1,209回	D
パスファインダー(調べ方案内)作成	4タイトル	2タイトル	D
市民向け調べ方講習会	実施	実施	A
職員レファレンス研修の開催数	9回	5回	C

【評価説明】
レファレンス受付件数については、平成23年6月からJIS規格に準拠した統計の取り方に変更した結果、大幅な増加となりました。
平成22年7月から中央図書館のデータベース用の端末を統合して7台から5台にし、インターネット用端末に振り替えたことが、データベースの利用回数の減少に影響したと考えられます。
低い評価の指標がありますが、A評価の指標も3つあることから、総合評価をCとしました。

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	市民意見の反映	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>市民や識者の意見を聴くため、図書館協議会を年間3回開催して図書館運営の一層の充実を図ります。図書館協議会の議事録はホームページで公開します。  「わたしの提案」による広聴制度やホームページを活用して図書館への希望、意見、情報を広く取り入れ、信頼関係を築きます。  毎年1回、アンケート調査を行い、直に市民の声を聞くよう努めます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
アンケートによる満足度調査の実施	実施	市内10図書館で実施	A

【評価説明】
<p>平成23年度は、図書館協議会を、年3回開催しました。また、11月に市内の10図書館でアンケートを実施しました。  「わたしの提案」やホームページへの意見もいただいております。意見を取り入れる体制は整ってきています。以上の状況から、総合評価をAとしました。</p>

【目標】	関連機関との連携	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>県立図書館や他の市町村図書館と連携し、相互貸借や郷土地域資料の分担収集・分担保存を行います。  病院や福祉施設への出張サービス、博物館や他の文化施設と連携した事業を行います。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
相互貸借件数(県内のみ)	16,000件	17,323件	A
連携事業実施機関数、延実施回数	2機関11回	10機関30回	A

【評価説明】
<p>2つの指標の中でも、連携事業実施機関数が増えている点は、特に高く評価できます。  指標2つの項目がいずれもA評価であることから、総合評価をAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	関係団体との協働	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>障害のある方や児童へのサービスにかかわるボランティア団体等と連携した活動、共催事業の開催などを行います。</p> <p>子育て支援課によるブックスタート事業においては、ボランティアと協力して、赤ちゃんと保護者が絵本を介して楽しい時間を過ごせるよう努めます。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
ボランティア団体数	37団体	38団体	A
ボランティアとの協働事業数、延実施回数	72事業、586回	92事業、576回	A

【評価説明】
<p>ボランティアとの協働事業延実施回数は、目標値に達していないものの98.3%と高い数値であり、事業数も大幅に20事業増えているのでA評価としました。</p> <p>2つの指標ともA評価であるため、総合評価をAとしました。</p>

【目標】	施設・設備の充実	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>より快適で使いやすい図書館とするため、施設・設備の改修に取り組み、サインなどわかりやすい案内表示に努めます。</p> <p>昭和56年以前に開館した図書館は計画的に耐震診断を行い安全な施設を目指します。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
安全・安心な施設の提供	実施	実施	A

【評価説明】
<p>平成23年度は、自動ドアの修繕工事を北浦和図書館他2館で、東浦和図書館ではクッションフロアの取替修繕工事を行いました。また、与野図書館と岩槻図書館において耐震診断を実施しました。北浦和図書館では平成25年度に予定している耐震補強工事による石綿の飛散を未然に防ぐため、天井のボードの張替え、階段上部や天井裏の鉄骨に吹き付けられている石綿を除去する工事を行いました。</p> <p>安全・安心な施設の提供のため、順次取り組んでいることから、指標別評価・総合評価をAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成23年度)

【目標】	図書館の整備	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>武蔵浦和駅前の再開発地区に開設予定の武蔵浦和図書館は、平成24年度の開館を目指し準備を行います。</p> <p>平成23年度中に「さいたま市公共施設マネジメント計画」に沿った、新たな図書館整備計画を策定します。</p>			

指標	目標値	23年度実績	指標別評価
武蔵浦和図書館の開館準備実施	開館準備実施	開館準備実施	A
新たな図書館整備計画の策定	整備計画の策定	策定準備	C

【評価説明】
<p>「武蔵浦和図書館の開館準備実施」については、施設の引渡しを目前に火災が発生したため、平成23年度に整備を予定した資料は、納品先を市内各図書館に変更し保管しています。事務什器や一部図書館家具などは、納入の延期や館内サイン制作等を事故繰越とするなどの対応を行いました。平成25年1月4日に開館する予定であり、23年度中に行う準備は完了しているため、A評価としました。</p> <p>「新たな図書館整備計画の策定」については、「さいたま市立中央図書館整備計画」の改訂として「さいたま市図書館ビジョン」(素案)を作成、図書館協議会に提示し意見聴取を行いました。策定には至らなかったため、C評価としました。</p> <p>その要因としては、平成24年度にパブリックコメントの実施が必要であること、上位計画であり現在策定中の「さいたま市公共施設マネジメント計画」とのすりあわせが必要であったことがあげられます。</p> <p>策定に向け、平成23年度の進行は順当に行われたことから、総合評価はBとしました。</p>